

生きにくさを 抱える若者の 理解と支援



私は臨床心理士として相談室だけでなく地域のさまざまな場所で、青年期の若者たちの「生きにくさ」と触れ合う仕事をしてきました。そうした実践の中で私の中で形を成してきた「(心の)理解」「(社会的)自立」「子育て」の意味について、皆さんに問うてみたいと思います。そして若者とともに生きる私たちの役割について事例をもとに考えたいと思います。

2026
2月28日(土)
14:00~16:00



講師 平野 直己

北海道教育大学札幌校
臨床心理学研究室 教授

専門：児童期・思春期の心理発達と
心理援助

東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程在学中より、教育相談センター、総合病院の児童精神科などで実践・研修を受ける。同大学院を単位取得退学後、札幌少年鑑別所法務技官を経て、平成8年より北海道教育大学の教員となる。岩見沢校内に地域住民対象の相談室を開設し、子どもと保護者や子どもを支える関係者のサポートにあたる。大学近くに一軒家を借りて「フリースペース」を主宰、不登校をはじめ学校や地域生活に不安や戸惑いを抱える子どもの居場所づくりを地域住民とともに行った。平成20年度より札幌校に転勤してからも相談室活動のほかには地域の小中高校、児童自立施設の院内学校、刑務所などで臨床心理士として勤務。NPO法人余市教育福祉村理事長。

開催方法	オンライン (Zoom)
対象者	一般 本学生・卒業生・本教員
定員	80名 ※先着順
参加費	無料
申込〆切	2026年2月24日 (火)
申込方法	お申込みはこちら



聖学院大学総合研究所

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

research@seigakuin-univ.ac.jp

TEL 048-725-5524

<https://www.seigakuin-univ.ac.jp/institution/gri/>

主催：聖学院大学 心理福祉学部附属心理相談室

共催：聖学院大学総合研究所 心理福祉学研究

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科

聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科